

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3691500023		
法人名	医療法人 十全会		
事業所名	グループホームさざんかの宿		
所在地	徳島県板野郡板野町犬伏字鶴畑42番地		
自己評価作成日	平成29年11月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会		
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 県立総合福祉センター3階		
訪問調査日	平成30年2月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者一人ひとりのスペースに応じたサービスを提供し、ストレスの少ないのびのびとした穏やかな生活のなかで認知症の行動障害を軽減できるよう支援している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、母体法人と隣接し医療や他の介護サービスと連携して地域と関わっている。地域密着型サービスの意義をふまえた取り組みで、地域から信頼される事業所となっている。管理者や職員は、利用者中心となる一日を過ごしている。職員は、押しつけることのない支援を心がけている。買い物や自宅を見に行くなど外出支援も多い。24時間連携体制の協力医療機関や認知症の専門医の受診も積極的に支援し、適切な医療の受診体制の構築に努めている。管理者は、自己評価や介護計画などを職員と共有しつつ、利用者一人ひとりの意向に沿いながら、サービスに対する意欲を引き出している。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔」「誠意」「信頼」地域の中で絆を深め信頼を築く」理念を玄関に提示し、日々心掛けて業務に努めています。	事業所は、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を、職員の話し合いによって作成している。地域から信頼される事業所となるべく努めている。ミーティングの際、理念を確認し、ケアの基本姿勢を共有し実践している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣地域の中学校より職場体験の受け入れも行っている。	事業所は、地域の一員として、町内会に加入し、会合に参加している。祭りの神輿が事業所に立ち寄り、地域の老人会や敬老会にも参加したり、利用者も一緒に地域と交流を図っている。事業所のイベントに地域の方を多数招待している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年6回の運営推進会議を開催して、地域の民生委員さんをはじめとして、認知症介護に関する啓蒙活動をしています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月行っている活動や行事等を報告し、ご利用者・ご家族の意見や要望を取り入れていけるような話し合いを行っている。な	2か月に1回、運営推進会議を開催している。利用者や家族、地域の方々、町担当者などの出席を得ている。会議は、双方向に意見交換を行っており、出された意見は、職員間で話し合い運営に反映している。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、地域ケア会議や生活保護担当者、介護相談員の来訪時相談させて頂き協力関係を築くように取り組んでいます。	事業所は、町担当者に事業所の運営や取り組みについて相談している。福祉制度について相談したり、町担当者からの入居受入相談について協議を行ったりして、協力関係の構築に努めている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	肉体的な事はもとより、精神的に拘束ととられない様に会話や言動は慎む様に心掛けています	職員は、身体拘束の内容と弊害について理解している。職員は、外出を希望する利用者とともに一緒に散歩したり、自宅まで出掛けたりして、拘束感のないケアに取り組んでいる。家族にも自由な暮らし方について説明している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月研修があり、その都度勉強会を行い、話し合い、法令遵守規程を守り虐待防止に努めています。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在成年後見制度を利用されている方もいますので、学ぶ機会を増やして活用出来るように支援しています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時はもちろんですが、回会時等に御家族の不安をお聞きし十分な説明心掛けています。必要な時は、何度でも説明させていただきます。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加呼び掛けは電話等で行っていますが、参加者が少ないので面会時に意見や相談を受けるようにしています。	事業所は、利用者や家族が意見を述べる機会として、運営推進会議を捉え積極的に案内を行っている。職員は、家族の来訪時に、話を聞くように努め、出された意見や要望は職員間で共有したり、話し合ったりしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各部署で意見、問題点を話し合い、職員会議でさらに議論しています。個人面談の機会も設けています。	管理者は、職員の意向を日頃の業務を通じて把握するように努めている。職員の気づきをケアに反映するよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来るように、シフトの相談を受けたり、勤務実績により処遇改善に努めています。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の勉強会参加の機会が増えています。資格取得の際は、勤務の便宜を図り資格取得への支援をしています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム同士や、多職種間での意見交換は、円滑に行えるように取り組んでいます。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初めての場所で環境の変化に戸惑うことも多く不安の軽減に心掛け御本人、御家族から要望を聞き取り不安な点の改善に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何でも相談出来る雰囲気作りに心掛け、御本人、御家族の意向をお聞きし納得のいくまで、話し合いさせて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に御本人、御家族と話し合いを行い、要望や必要とする支援に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員の見守りの中、御本人様の出来る事は可能な限りご自身で行えるように環境を整えて支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族との信頼関係を築けるように日頃の様子を面会時、日々の様子を伝えて御家族の協力も仰いでいます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人の方の面会時はゆっくり会話して頂けるように場所の確保に努め、再度来て頂けるようお願いしています。	事業所は、利用者一人ひとりが大切にしてきた馴染みの関係が継続できるよう支援している。友人や知人の来訪を歓迎している。行きつけの店に買い物に行くなど、一人ひとりに合わせた支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の会話や行動を把握して、よい関係が築けるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も御家族から近況の連絡を頂いたり、悩みお聞きして必要な支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活リズムを大切に希望や意向を聞きながら、危険の無い限り御本人主体で支援しています。	職員は、日頃の利用者との関わりの中で、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。利用者の生活歴を理解し、話や表情をしっかりと受け止め、思いを支援に反映できるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴をお聞きするとともに、入居後もご家族様とスタッフが会いする機会にも、適時お話を聞きます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録を通して、利用者様の一日を把握するとともに、異変についても注意を払っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の情報を共有して介護計画見直し作成し、計画作成担当者が介護計画として起こし、ご家族に提示しています。	事業所は、利用者や家族の意向を聞き、医師や栄養士など関係者で話し合い、本人本位の介護計画を作成している。月1回のモニタリングを行い、定期的見直しや状況の変化に伴い、随時見直しも行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化等は、利用者一人ひとりのケア記録に記載し、職員間の情報共有を徹底している。また、個別記録をもとに介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	生活施設として、利用者様の生活を作る視点を大切にしています。また、利用者様の状態像の変化に応じて、次の生活拠点の相談援助もいたします。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の要望により外出支援や買い物代行にもお応えています。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの医師による継続的な医療を受けられるように支援している。また、状況に応じて本人や家族が希望する診療科を受けられるよう支援している。	事業所では、利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。専門医の受診には職員が同行し、一人ひとりの心身の状態を把握している。家族とも状況を共有している。緊急時も協力医療機関の支援体制を築いている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調や表情の変化を見逃さないよう早期発見に努めている。体調の変化等が見受けられた際には、直ちに看護職へ報告し、適切な医療に繋げている。母体病院による医療連携加算を取っている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が安心して医療を受診できるように家族等と相談している。医療機関の関係者に対し、情報の提供やケアについて話し合い、早期退院に向けた働きかけを行っている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を踏まえたうえで、医師と職員が連携を図っている。安心して納得した終末期を迎えられるように、随時、意向を確認して取り組んでいる。看取り加算を取っています。	事業所は、入居時の段階に重度化や終末期に関する事業所の方針などを説明している。利用者の心身の状況の変化に応じて、医師からの説明を受け、本人や家族の意向を確認し、希望にそった支援に取り組んでいる。また、職員は終末期に向けた支援についての研修をしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	怪我や骨折、誤嚥、意識不明等の対処方法や緊急時の対応に関するマニュアルを作成し、周知徹底を図っている。母体病院と医療連携をとっており急変時に往診が行える			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成している。定期的に消防署職員の立会いのもと指導を受け、防火や防災訓練等を行っている。	年3回、消防署や法人関係者の参加を得て避難訓練を行い、火災時の避難の方法や経路を確認している。防災センターの見学なども行い、職員の防災意識を高めている。災害時の食料品や衛生用品の備蓄を準備している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアを心がけている。また、自己決定しやすい言葉かけに努めている。	事業所は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、無理強いすることなく、利用者の希望を優先した支援に努めている。職員は、利用者のプライバシーの確保や羞恥心に配慮したケアに努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が職員を信頼していただき、色々な生活場面で、思いを伝えて頂けるように心がけています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の都合を優先するように「ちょっと待って」という言葉をできるだけ少なくなるようにしています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に適した服装や、女性の方には好みのヘアピンを使って頂いたり細かい部分での対応も視野に入れています。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の個々の咀嚼の力を配慮して、刻み食・ミキサー食などで食べやすさも提供しています。	食事は、利用者一人ひとりに合わせて、自分で食べることができるようにしている。嗜好調査で、味付けや食べたいものの把握に努めている。外食に行ったり、利用者と一緒にホットケーキを作ったりして、食べるようになるよう工夫している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	脱水予防の為、日盛りのあるコップを使用し、1日の飲水量をチェックしています。一日水分量1500mlが確保出来るように支援しています。栄養状態に問題がある場合は栄養補助を検討しています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる方には声かけや見守りを行い、困難な方には毎食後のケアを行うなど、利用者一人ひとりの力に応じた口腔ケアの実施に努めている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は利用者全員、トイレでの排泄を支援している。利用者一人ひとりの状態に合わせて、紙パンツやおむつ類の使用を検討している。	事業所は、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握したうえで、さりげない声かけを行いトイレへの誘導を行っている。利用者の負担にならないように、夜間は状況に合わせておむつを使用することもある。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックを行い、十分な水分補給に努めたり、繊維質の多い食材の提供を心がけている。日中、トイレ誘導時には便座に座ってもらい便秘予防に務めている。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日を定めていますが、利用者の要望や状況に合わせて対応しています。	利用者の体調に配慮した入浴を支援している。少なくとも週2回は入浴し、ゆっくりとお湯に浸かっている。入浴を拒む方も、日を変えるなど無理強いくことなく、ゆったりと入浴できるよう努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。寝付けない時には、温かい飲み物やおやつを提供しておしゃべりするなどの配慮を行っている。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の状況に合わせて手渡しや職員が直接服薬介助を行っています。調剤薬局より薬の説明書を綴っており、内服薬の確認を行っています。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野の活動を提供しています。また、日光浴や夕涼み、季節の行事などの提供で気分転換を図っています。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿っての外出を提供していますが、現状では、回数は減少傾向です。	事業所の近くに公園があり、利用者は日常的に周辺を散歩している。花見や菊人形、みかん狩りなど季節を感じることでできる外出もしている。一人ひとりの希望に応じて、家族と協力しながら出かけられるように支援をしている。外出機会が少ない利用者の今後の外出支援について、職員間で検討をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が安心や満足を得られるよう支援している。家族と相談し、小額でも所持できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	職員は、如何なる場合も通信及び面会に行動制限が出来ない旨を理解し、利用者の希望に応じて、日ごろから電話や手紙を出せるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間は、居心地よく過ごせるように配慮している。また、自宅の延長として、自分の力でその人らしく過ごせる居心地のよい空間となるよう配慮している。	共用空間は明るくゆったりとした空間となっている。季節の花を生けるなど、利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしている。利用者は、日中のほとんどの時間を共用空間で過ごし、体操や折り紙、歌など自分の好きなことをして楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓テーブルの席などで、気の合う者同士でおしゃべりができるように配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談したうえで、居室に寝具やタンス、写真等を持ち込んでもらい、本人が居心地よく過ごせるようにしている。	利用者が落ち着いて過ごすことができるよう馴染みの家具や家族の写真を持ち込んでもらっている。本人や家族と話し合いを行ったうえで、職員が掃除や衣類の入れ替えも手伝い、居心地よく暮らすことができるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の扉にはお名前を掲示し、トイレもわかりやすく表示しています。廊下には手すりを設置しています。		